



園だより

第6号

令和元年9月30日
駿河台大学第一幼稚園
園長 田所 恒子

変わりゆく季節の中で

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、心地よく吹く風や澄みわたる青空に、変わりゆく季節を感じるこの頃です。花壇も、夏から秋・冬の栽培物へと変わる中、子どもたちにも大きな変化や成長が見られ嬉しくなります。そんな子どもたちの姿を「週日案」の「反省及び明日への配慮」の欄に記載された担任の言葉を借りてご紹介します。

「週日案」は、担任が学級の実態を捉え、どの様なねらいで、どんな内容を指導していくか、そのために、どの様な環境を作り配慮したら良いかを記載した「指導演」です。具体的な「日案」も作成され、日々の保育を評価・反省して、翌日の「指導演」を修整しながら保育を進めます。学年で話し合い、それぞれの担任が作成した「週日案」は、副園長・園長に提出されます。私たち管理職は、担任が行う保育を観察するだけでなく、「週日案」の指導を通して、保育の充実を図っています。

○年少組の「週日案」から

『子どもたちと追いかけてっこをした。足がまだ遅い子も（担任を）捕まえられるように、（担任は）一方的に逃げるのではなく追いかけてくる子どもに向かって行くようにした。それでも捕まることのないようにうまく逃げながら楽しく遊べるように心がけた。（周りで見ていた子どもが）「先生がんばれー！」と応援してくれて元気が出た。追いかけてっこをしている子も応援してくれる子もみんなで楽しめた。』

保育を見ていた私も「若いっていいなあ」とうらやましくなるほどパワフルで楽しそうな先生の姿でした。このような経験が初めての運動会で、友達と一緒に力一杯がんばったり、応援したりする力につながっていきます。

○年中組の「週日案」から

『普段は一緒に遊ぶことが少なかった友達の所に行き、「鬼ごっこをしようよ」と誘う姿が見られるようになった。』『「マット引き遊び」では、今週は担任がマットの上のり負荷をかけてみた。友達と力を合わせ、マットが動いたことを喜び合ったり、勝ち負けを競ったりする姿が見られた。』

年中児は、学級のまとまりが見られるようになり、簡単なルールのある遊びでは、様々な友達と楽しめるようになってきました。日常生活の中では経験できない「引く」運動を遊びに取り入れながら、運動会の綱引きにつなげ、学級対抗で綱引きを楽しみます。

○年長組の「週日案」から

『リレーに勝てなかったことを学級内で振り返った。「バトンをもらったらすぐ走る。」「最後まであきらめない。」「もっとチームで力を合わせる。」など様々な意見が出た。クラスみんなで勝ちたいという気持ちがそれぞれの中で大きくなり、それが学級の中で大きくなっている。子どもたちの走り方も変わって来ているので、この気持ちを運動会まで大切にしていきたい。』

最高学年の年長児は、友達と勝つためにどうしたら良いかを考え、力を合わせてがんばろうとする力が育っています。10月は小学校での就学時健診が行われます。少しずつ小学校進学への期待を高めていくことでしょう。

●5日の運動会では、変わりゆく季節の中で、大きく成長していく子どもたちの姿を保護者の皆様にたくさん見ていただきたいと思います。楽しみになさってください。お待ちしております。



年少児は、夏に育てたエダマメと比べて、種が小さなことに驚きながらニンジンも蒔きました。担任は、毎朝、登園してきた子どもたちとプランターを覗き込みながら、子どもたちの興味・関心を高めています。



年少児に、積み木を購入しました。大好きな積み木が増え大喜びです。車や電車、おうちやステージなどを作って友達と遊んでいます。



年中児は、運動会の競技「プレゼントをどうぞ！」で来年入園対象の未就園児にあげるプレゼントを作りました。運動会で未就園児に渡すことをとても楽しみにしています。



赤広場をお借りし、運動会の練習を行っています。年長児の「ソーラン節」の決めポーズです。友達と気持ちを合わせて踊ろうとする姿が見られます。運動会当日はもっとかっこよくなっていますよ。楽しみに。